

# 駐屯地創立40周年記念行事盛大に 第12施設群創隊18周年

# いわみざわ



発行所 陸上自衛隊駐屯地会  
岩見沢市日ノ出台1-3  
岩見沢市日ノ出台1-3  
北海道空知郡美幌町最上350  
空知郡美幌町最上350  
電話 (0126) 45-2723

## PKO隊員が花をそえる

岩見沢駐屯地は十月十一日、夜半までの雨もあがった素晴らしい青空の下、自衛隊協力会岩見沢隊区連合会（会長笠原喜平治氏）及び隊友会岩見沢支部（会長岡田徹也氏）の共催で、駐屯地創立四十周年、第十二施設群創隊十八周年の記念行事と九月にカンボディアから帰国した九十七名の隊員の無事帰国を祝う会も併せて盛大に行なった。



式典に先立ち、カンボディア派遣隊員の帰国報告会が行われ、帰国した九十六名の隊員がUNTAGのブルーベレー帽姿で堂々の入場。観閲台の前に整列した隊員を代表して、山田伊智郎三佐が「任務を無事終了して帰隊しました」と報告、これに対し得田憲司司令が「全員無事に帰隊できておめでとう」と労をねぎらった。

続いて記念式典が行われ、司令の式辞、渡辺省一議員はじめ来賓のお祝いの言葉、祝電披露等があり、観閲行進では各中隊が車両行進を行い、隊友会会員もこの列に加わり、隊友会の行進を披露し式典を終了した。

この後、第十一音楽隊による演奏会、基本教練・銃剣格闘、自走架柱橋・パネル橋の架設、野外炊事等の訓練展示を行い日頃の訓練成果を披露、また、駐屯地曹友会主催によるJRM二列車の運転、エアートランポリンは今年初めて実施したが、ジープ試乗や最新式の装備品展示と併せて、家族連れの人気を集めて長い列ができていた。

体育館で行われた記念会食では、派遣隊員の帰国祝賀会も兼ね、協力会隊区連合会の笠原会長はじめ来賓の方々から、派遣間の労をねぎらう言葉が送られた。



## 司令式辞要旨

昨日来の雨も去り、南空知の平地に爽やかな秋風が吹き渡る本日、多数の来賓のご臨席のもと、平素から岩見沢駐屯地を愛しご支援して下さる多数の方々、岩見沢駐屯地の諸先輩及び隊員諸官のご家族のご参加を戴き、自衛隊協力会岩見沢隊区連合会並びに隊友会岩見沢支部との共催により岩見沢駐屯地創立四十周年、第十二施設群創隊十八周年の記念行事を挙げて下さることは、誠に、感激胸に迫るものがあり、当駐屯地に所在する隊員一同心から喜びとするところであります。

順みますと、岩見沢駐屯地は昭和二十七年金沢で編成され、昭和二十八年岩見沢に移駐してまいりました。当時はこの台上は熊笹が生い茂り、雨になれば膝まで没する車粘土がむき出しになっていたと聞いておりますが、今日では全国でも屈指の、良い環境に恵まれた駐屯地にまで整備されましたことは駐屯地に勤務した諸先輩の、言葉では言い尽くせないご苦労や

は、駐屯地が所在します岩見沢市を始めとする関係市町村並びに関係機関等の並々ならぬ御支援と御厚情の賜物であり、現在駐屯地に所在いたします隊員一同心から御礼を申し上げる次第であります。さて、ここ数百年の世界情勢は数百年に一度あるかないかの激動期と伝えられておりますように、まさに流動的であり、国の内外を問わずこれまでの価値観そのものが大きく見直しを迫られております。自衛隊を取り巻く環境も様々な意味でこれまでと大きく変化しようとしております。そうした一連の流れの中で、昨年、国連平和維持活動に対する協力が自衛隊の新たな役割として付与され、この第十二施設群からも、本年三月から九月までの間、九十七名の隊員が新生カンボディア国家の平和の建設に参加してまいりました。派遣に際しましては、この駐屯地にも、期待と同時に内外から様々な不安・心配等が寄せられましたが、派遣間に生じた各種



困難も平素の訓練で培い、また強固な団結、厳正な規律及び高い士気、そして諸先輩から受け継ぎました施設技術力をもつて克服することができたと考えております。派遣間、派遣隊員、留守家族そして岩見沢駐屯地に多数の方々、御激励、御厚情を戴きました。第十二施設群の派

## 第六回岩見沢自衛隊写真・陶芸展

### 写真・陶芸展

九月十四・十五日の両日、創立記念行事の一環として、西友岩見沢店において岩見沢駐屯地の活動を紹介する「第六回岩見沢自衛隊写真・陶芸展」を開催した。今年、駐屯地から九十七名の隊員がカンボディアに派遣されたことからPKO第二次派遣隊員の活躍、駐屯地の一年間の行事・部外行事支援、南西沖地震の災害派遣等の写真百八点とビデオ放映、陶芸部（部長三代目兼元北野一年准尉）の作品八十一点を展示して広く市民に岩見沢駐屯地を紹介した。



期間中、延べ千百名の市民が訪れ興味深く作品に見入っていた。

# 隊友会岩見沢支部



支部長 岡田 徹也

【国際貢献とPKOに思う】

ここ約五十年、世界の秩序は軒余曲折を経ながらも国連の旗のもとに維持され、東西南北の対立は地域紛争を継続しながら逐次終息の方向に向かいつつある。

その間、ソビエト連邦は崩壊し政治経済面で密接に連係していた周辺諸国はドミノ現象により政治不安と後進国的不況に悩み、西側もまた地域民族の紛争と世界的不況の解決が焦眉の急となっている。

このような国際情勢の中で国連を通ずる国際貢献は、国是としても現実の問題としても全ての国民が等しくその必要性を認めているところである。

ところが、実行の具体的手段方法になると異論百出(金物、声援)のファン同情支援で良しとする、ボランティア活動で十分とする等、極めて安易ご都合主義と思われるものが意外と多かったのが実情である。

掃海艇の派遣は運きに失し、拠出した多額の援助資金についても当事国は、評価の対象としてさえもリストアップしなかつたのである。そして、今回のカンボディア派遣についても、その終幕によくやく間に合ったとの感がある。

しかし、第一次そして第二次と一年間にわたり極めて劣悪な治安環境の中で、四十度

前後の蒸すような気温の下、予想外の任務を遂行した自衛隊の士気、規律、技術、信頼される行動はUNTAAC、現地人の絶賛を浴びたものである。

派遣期間中、ボランティアの方と警官官が不幸に合われたことは誠に残念で心から冥福を祈るものであるが、それにしても一年間の派遣において千二百名を越える派遣隊員、PKO支援チーム、停戦監視員の自衛官が全員無事に帰還されたことは、実に素晴らしい賞賛してなお尽くせぬものがある。これは現地における任務と、その行動について前二者に比し極めて厳しかったことを現地で目の当たりに見聞き、自らを守り任務を遂行する訓練精到な集団、自己完結能力を有する自衛隊によってこそ初めて成し得たものであることを実証したものである。

世界の中の日本、貿易立国の日本が国連の常任理事国入りを目指そうとする今日、ボランティア等極めて一部の人の善意を頼みとし、「金物」の拠出でことたれりとするは通用しないこと余りにも明白である。

以上、日頃の思いを記したが、今後自衛隊の派遣が国会等で論議される時は、その任務を明確にし、派遣部隊の編成整備とその使用に十分な検討を加えること、隊員、家族の人々の心情にも思いをいたし、論議を尽くし、超党派の合意に真付けされた国民的要望がない限り、自衛隊が犠牲的立場で派遣されるべき



顧問 安藤 寛雄

【岩見沢市政について】

まずは、カンボディア派遣隊の皆様、長期間の厳しい勤務ご苦労さまでした。無事に帰還されましたことに対して心よりお慶び申し上げます。

また、先の隊友会役員会において顧問という地位を与えて戴きましたことに対して改めて感謝申し上げます。昭和五十年に庶務理事としてお手伝いを始めて以来十八年、今更ながら時の流れの早さを感じさせられます。今年には議会の方も折り返し時点で、議会人事、並びに会派内役員も変更になり、岩見沢地区消防組合議長、市政クラブ(二十名)の幹事長を仰せつかり会派内の取りまとめや、他会派との調整、理事側との打合せ等、少々忙しい目にあっています。

そんな中で九月定例議会は、農業対策の冷害対策特別委員会設立については、当初より調整を取っていたので問題はなかつたのですが、会期の途中に多くの市民にも関心の深い駅前ビル問題が発生いたしました。この不幸なビル(取返してこう表現させて戴きます)については次の機会に詳細に報告させていただきますが、でないことを強く思うものであります。

最後になったが、派遣隊員が生命保険の増額加入を考える等の必要がないよう全ての面にわたる補償を十分検討し、裏付ける必要があることを痛感する。

何故九月定例議会で採決されたかを報告申し上げます。

まず、ターミナルビル会社が、自らの責務を果たすべく解決策として、二階まで完成した際には、市で買い取るよう支援をお願いしたい(その方法以外に道はない)、その価格については現在までの出来高プラス、これから完成までの建築費とし、その算定は設計会社、ターミナルビル会社、JV、市の四者の合意(確認)で決定、他の負債に付いてはターミナルビル会社が、再建委員会を設立し対応する(このことは、今まで市に責任あるかのように報道されたり、また、JVもビル会社の一部役員もそうであるかのように対応したりしてきたが、今回初めてビル会社自ら、その責任を認め解決に向け努力することを公表し、その事実関係をJVも認めた、その要請に對して、市としてもビルの問題は駅周辺再開発事業の一環として捕らえるならば、現状のままに放置することはできない、また、支援をするならば、一刻でも早いほうがよいとの考えから、急遽九月定例会に間に合わすべく(年度内完成を旨とし、冬季間工事を考えると時間的余裕はない)取り扱うこととなった。

しかしながら、二十四億以上もの補正予算を積み上げるのだからそう簡単には行かない。各委員会の調整、各会派の煮詰め等、時間との勝負となった。

考えてみると、このような大きな問題が、時間、会期延長もなしに議決された事は、確かに各会派、各議員がそれぞれ何かしなければならぬという気持ち、根底にあったとはいえず、運がよかつたと言わざるを得ない。

これでビル問題も、新しい一歩を踏み出すことになるが、今後は利用方法について、大いに皆様の意見を反映させて参りますので、アイディアを出して戴ければと思っております。これで九月定例会の報告は終わりますが、全体の流れについては次回報告いたします。(岩見沢市議会議員)

## 「隊友会にご理解を」

副支部長 長崎 進  
隊友会岩見沢支部も年を重ねるごとにその数も、百二十名を越すほどに成長してきました。

最近定年になった人達は、%入会しておりますが、これは現職のときに上司などの御指導にもよるものと存じますが、今後は、任期満了の方たちも是非入会されるようお勧め致します。

隊友会では、OBが共に第二の人生を「楽しく、また、悲しいことも共に分かち合い助け合って行き、自衛隊の良き理解者である」会であります。

人生今や八十歳、今後約三十年間を、共に生活した仲間が時々集まって、語り合い、楽しいひとときを過ごすことは何にも替えられないものです。

人としての時代としてのモニュメントを大切に

有限会社 渡辺石材工業

■本店 〒068 岩見沢市 8 条 東 11 丁目  
TEL (0126) 25-2545・FAX (0126) 23-4567

ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号

はしもと商事有限会社

メンテナンスに関する事ならお任せ下さい。

親切・丁寧・確實

TEL・FAX (0126) 22-5546

岩見沢市駒園5丁目6

オール電化マンション

# レジエント

(有) エイ

連絡先: 岩見沢市6条西7丁目  
☎22-0087

総合商社

# 株式会社 君島商会

■本店	岩見沢市南町8条2丁目	☎22-4613
■本文支社	岩見沢市志本町2条3丁目	☎22-5813
■栗沢支店	栗沢町本町10	☎45-2068
■石油部	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-4565
■自動車部	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-6434
■オートガム	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-7861
■コンパネ	岩見沢市南町8条2丁目	☎24-8390
■店アソシエーション	岩見沢市南町8条2丁目	☎25-4840

# カンボディア派遣・出発から凱旋まで



無事帰国を願う家族の見送り



全隊員の見送りを受け駐屯地を出発



社行会で決意を新たに



炎天下、道路整備に汗を流す



カンボディアの復興を誓う隊員



完成間近の橋の補修



日々緊張の警戒



つかの間の休息、なごやかに交流



お世話になった方々に帰国報告



良い子にしていたか？



地元住民との交流も積極的に

.....だから  
二人の時間を刻みたい  
よろしければ.....

Iwamizawa  
**Heiankaku**  
Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120-201143

おしゃれの店  
**洋品のマルカワ**  
高橋邦夫  
岩見沢市3条東1丁目 ☎(22)1224

時代を一步リードした  
中庭のあるモデル住宅  
柏崎建築設計事務所  
建築請負 柏崎建設株式会社  
代表取締役 **柏崎昭朗**  
会社 岩見沢市11条西1丁目  
電話(代)2129番  
木工場 岩見沢市東山町  
電話241725番

# 平和の尊さを体験し無事帰国



本 部 伊智郎  
三佐 山田 伊智郎



第336 施設中隊  
一尉 鈴木 英明

後発隊百五十名が九月二十  
六日午後九時三十五分千歳空  
港に到着して、第2次カンボ  
ディア派遣施設大隊六百名が  
すべて約六ヶ月間の活動を終  
了して無事帰国しました。

この活動期間中の忘れられ  
ない思い出の一つは、選挙の  
時期のことです。色んな噂が飛び  
交い、夜寝ていても物音がす  
る度に飛び起き防弾チョッキ  
と鉄帽のあるところを確認す  
る毎日が続きました。この時  
ほど平和の尊さを思ったこと  
はありませんでした。もう一  
つ忘れられないのが子供連の  
笑顔です。黒い顔に白い歯と  
純真な眼差しがとて印象的  
でした。カンボディア進入当  
初から帰国までこの思いは変  
わらず、きつと十年後のカン  
ボディアは彼らの手で立派な  
国に立て直されていることと  
思います。

この様にカンボディアの思  
い出を心に、無事帰国できた  
のは、部隊、家族そして地域  
住民の方々の御支援のおかげ  
と、心から感謝しております。  
誠にありがとうございます。  
今後は、PKOで得た経  
験を生かしながら、謙虚に次  
期任務に邁進したいと思い  
ています。これからも皆  
様の御支援をよろしくお願  
いいたします。

「PKO」二年前まで、この  
言葉を知っていた人がどのく  
らいいたでしょうか。東西冷  
戦構造が崩壊し、国際秩序を  
維持するための国際連合の果  
たすべき役割が加速度的に高  
まってきた近年、日本国内に  
おいては、昨年六月のPKO  
法案の成立、十月のUNT  
ACへの一次隊の派遣から激  
動の一年が経過し、二次隊の  
撤収をもって日本初のPKO  
が終了しました。

このUNTACでの活動を  
通じ、派遣隊員はもとより、  
自衛隊が、政府が、そして何  
より国民が学び得たものは、  
大なるものがあると思いま  
す。

さて、我々施設二中隊は、  
カンボディア国内において、  
カンボット、タケオ、シア  
ヌークビルと二つの地域で活  
動し、道路や橋梁の補修、  
UNTAC他部隊等に対する  
支援、撤収作業等、まさしく  
広範多岐にわたる業務を実施  
しましたが、これらの業務や  
カンボディアの人々・各団の  
UNTAC要員との交流等を  
通じ、戦争の悲惨さや平和の  
尊さ、民族を越えて同一の目  
的のために活動する事の喜び  
等、PKOならではの数多く  
の経験をすることができまし  
た。また反面、武器使用や二  
元性を持った指揮関係等の問  
題も残りますが、政府レベル

での十分な検討がなされ、じ  
後のPKOに反映される事を  
期待するところです。  
カンボディアでは新憲法が  
制定され、自助努力による国  
の再建が開始されました。  
UNTACに参加した隊員の  
一員として一日も早く、真の  
平和がカンボディアに訪れる  
事を祈るばかりです。

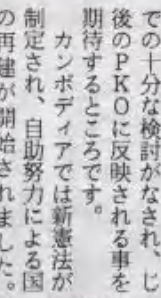
PKOに参加し、全員無事  
帰国できた事を何より嬉しく  
思っている。勤務面では、選  
挙終了まで情勢が悪く、道路  
補修中武装兵士が近くに來た  
り、作業を中止し帰隊した  
り、チュエークで戦闘があり作  
業を見合わせた時、曳光弾を  
宿舍上空に発射したり、戦闘  
情報が入ったりで、私は器材  
小隊として、橋、道路補修を  
まだまだ手掛けたかったが、  
安全を考慮すると致し方な  
い。また選挙監視の支援、期  
間中の警備等で時間が過ぎ  
た。カンボットでは泥濘に泣  
かされ、せめて空砲で脅して  
二度と被害に遭いたくない心  
境だった。

生活面では特に困った事は  
無かったが、作業に出る度、  
水入れ、防弾チョッキ、鉄帽、  
下着等の手荷物で大変、それ  
と残念な事は外国人との会話  
機会がありながら、英語が駄  
目で話が聞けなかったのが心  
残りだった。

去年九月、カンボディアへ  
行くことになるかもしれない  
と聞き、今まで他人事と思っ  
ていましたが、私自身が見送  
る立場になるなんて思っても  
いませんでした。出発までま  
だ何日もあるので中止になら  
ないかと思いつながら毎日を過  
ごしました。

出発が近づくと荷造りを始  
め、家を空ける事も多くなり  
出発当日となりました。元氣

に「何も心配はいらない、行  
ってきます」と言って出発し  
ましたが、出発したと同時に  
射撃事件があり、選挙があっ  
たりで毎日心配でした。しか  
し、電話で声を聞いたり手紙  
が届いた時はとても嬉しく安  
心しました。二才半だった娘  
は、子供なりに理解し「お父  
さんはカンボディアに行っ  
て三才になったら帰って来る  
と三才の誕生日をずっと待っ  
ていました。



第335 施設中隊  
三尉夫人 鈴木 千代美

娘から「お父さんは？お父  
さんは？」と聞かれる事なく  
半年が過ぎ、先日無事に帰国  
しました。お父さんの姿を見  
ると「抱っこ」と甘え、主人  
から離れる事なくべったりで  
した。体調も良く元気な姿で  
帰って来てくれた主人。二人  
きりで過ごした半年は空白と  
なって、お土産話を聞きなが  
ら家族での会話が弾んでいま  
す。半年間の仕事を無事に終  
え、これからは家族の為に頑  
張って欲しいと思います。  
最後に長い間お疲れさまでした。

四月とはいえ、雪が残る寒  
い中で主人達を乗せた飛行機  
が飛び立った時は、色々複雑  
な思いが交錯し、秋の帰国  
もはるか遠い先のことしか  
思われませんでした。振り返  
ると短いような長いような  
半年間だったように思いま  
す。

最後の翌日は国連ボラン  
ティアの方が、また五月には  
文民警察の方が不幸な事件の  
犠牲となり、その後も選挙な  
どが控えていたのもあって新  
聞やテレビの報道には私もか  
なり過敏になり、特にニュー

私は、今まであまり政治に  
関心はなかったのですが、現  
在国際貢献が叫ばれており、  
在国連貢献に自分達の  
身に降りかかってくるわけで  
すから、決して政治に無関心  
ではいられないことを実感し  
ました。

最後になりましたが、この  
半年間留守家族への心配りを  
色々としていただいた部隊の  
方へ本当に感謝致しております。  
本当にありがとうございます。

私は、今まであまり政治に  
関心はなかったのですが、現  
在国際貢献が叫ばれており、  
在国連貢献に自分達の  
身に降りかかってくるわけで  
すから、決して政治に無関心  
ではいられないことを実感し  
ました。

# お帰りなさい 御苦労様でした



第335 施設中隊  
三尉夫人 鈴木 千代美

九月十四日、タラップを降  
りて来た夫を見たとき思わず  
涙があふれだして止まりませ  
んでした。六ヶ月間の一人で  
の生活、精神的又肉体的な  
色々な思いが、頭の中を通り  
過ぎて行き言葉がすぐに出て  
きませんでした。帰ってくれ  
て本当に良かった、明日から  
はいつでも会えると思うと嬉  
しいです。

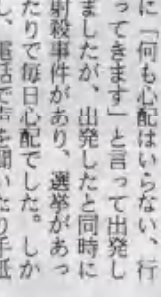
夫の留守の時は皆様の温か  
い御支援、手助けを頂きあり  
がとうございました。自分一  
人では何もできません、そし  
て今回の派遣に伴う留守担当  
者の皆様、本当にありがとうございます。  
平和な家庭が  
帰ってきました。

去年九月、カンボディアへ  
行くことになるかもしれない  
と聞き、今まで他人事と思っ  
ていましたが、私自身が見送  
る立場になるなんて思っても  
いませんでした。出発までま  
だ何日もあるので中止になら  
ないかと思いつながら毎日を過  
ごしました。

出発が近づくと荷造りを始  
め、家を空ける事も多くなり  
出発当日となりました。元氣

に「何も心配はいらない、行  
ってきます」と言って出発し  
ましたが、出発したと同時に  
射撃事件があり、選挙があっ  
たりで毎日心配でした。しか  
し、電話で声を聞いたり手紙  
が届いた時はとても嬉しく安  
心しました。二才半だった娘  
は、子供なりに理解し「お父  
さんはカンボディアに行っ  
て三才になったら帰って来る  
と三才の誕生日をずっと待っ  
ていました。

娘から「お父さんは？お父  
さんは？」と聞かれる事なく  
半年が過ぎ、先日無事に帰国  
しました。お父さんの姿を見  
ると「抱っこ」と甘え、主人  
から離れる事なくべったりで  
した。体調も良く元気な姿で  
帰って来てくれた主人。二人  
きりで過ごした半年は空白と  
なって、お土産話を聞きなが  
ら家族での会話が弾んでいま  
す。半年間の仕事を無事に終  
え、これからは家族の為に頑  
張って欲しいと思います。  
最後に長い間お疲れさまでした。



第342 施設中隊  
二尉夫人 鈴木 千代美

九月十四日に無事に帰って  
きた主人を見て、嬉しいはず  
なのになぜか声にならない状  
態でした。今は健康な体で無  
事帰ってこられたことを家族  
共々嬉しく思います。そして  
自分の間は、家で子供と遊ん  
でいる主人の姿を見ているこ  
とが私にとっての幸せです。

四月とはいえ、雪が残る寒  
い中で主人達を乗せた飛行機  
が飛び立った時は、色々複雑  
な思いが交錯し、秋の帰国  
もはるか遠い先のことしか  
思われませんでした。振り返  
ると短いような長いような  
半年間だったように思いま  
す。

最後の翌日は国連ボラン  
ティアの方が、また五月には  
文民警察の方が不幸な事件の  
犠牲となり、その後も選挙な  
どが控えていたのもあって新  
聞やテレビの報道には私もか  
なり過敏になり、特にニュー

私は、今まであまり政治に  
関心はなかったのですが、現  
在国際貢献が叫ばれており、  
在国連貢献に自分達の  
身に降りかかってくるわけで  
すから、決して政治に無関心  
ではいられないことを実感し  
ました。

最後になりましたが、この  
半年間留守家族への心配りを  
色々としていただいた部隊の  
方へ本当に感謝致しております。  
本当にありがとうございます。

私は、今まであまり政治に  
関心はなかったのですが、現  
在国際貢献が叫ばれており、  
在国連貢献に自分達の  
身に降りかかってくるわけで  
すから、決して政治に無関心  
ではいられないことを実感し  
ました。

宝石 創業86年 貴金属  
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

(株)太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目  
TEL 0126223353 223354



カンボディアの子供達は明るく伸び伸びし、我々が車両で移動する途中笑顔で手を振る。この時ばかりは暑く大変なことでも報われる様な気がした。

色々と言いたが、日本は何と平和で恵まれている国だろうと改めて思う。賢沢言ったら罰が当たった。

最後に、不在閣僚の皆様へ心温まる激励文等を頂き、又家族が大変世話になり、勤務等我々の分まで負担をおかけしました。



第336施設中隊 高橋 清治 二曹

四月七日、カンボディア入国以来約百六十日間、平和貢献業務に邁進しました。

P KOに参加するにあたり、自分の中で色々な葛藤がありました。自分から志願したものの、治安のこと、暑さのこと、言葉の壁、仕事のこと、最後の歴史の一人として金銭的援助だけの日本人として初めての世界貢献。個人として何か出来るのでは、と参加の決意をしました。

灼熱の地カンボディアの暑さは本場に脅威でした。我々北の防人が極寒の地より四十度を越す地へ、しかし報道記事を要切られたように北の防人は頑張りました。直射温度は五十度を越す日もあり、道路の補修、フランス軍の支援と頑張りました。

また、カンボット分隊での防弾チョッキ着用用の警備

は、それはもう防暑服の中で汗が沸き出す程でした。そして、道路補修で通う道はまるで月面のクレータを思わせる道路でした。地雷原の畑を抜けポルトが列車を撃撃したと言われる谷を抜けての道路補修でした。しかし、現地人の交流も忘れることも出来ません。言葉を超えた友情も出来ました。ただ、心配なこともありました。一週間遅れで届く衛星新聞を読むたびに、カンボディアで起きた事件で、日本の家族はさぞかし心配しているのではないかと思っていました。

また、我々は本場にカンボディアの人々の為になったのでしようか。我々にとって想い出で終わらせることは出来ませんが、色々な面から協力支援戴いた皆さんの事を除いては語れません。本場にありがとうございました。

今回、この平和維持活動に参加して本場に良かったと思ふ。この約六ヶ月間カンボディアで苦しかったことや、楽しかったことがいろいろあった。その中でも暑さが一番自分にとって大変に思えた。でも、日中四十度を越える暑さの中で、道路の整備や橋の補修、選挙支援などいろいろ作業してきましたが、現場に来るカンボディアの可愛い子供達の顔を見ると、苦しい時でも「頑張るぞ」という気が起きた。また、この経験から暑い時に水を飲んだ時、水の有り難みがわかったような気がした。



第337施設中隊 中堀 利幸 士長

春まだ肌寒い中、北海道を離れ、日中の暑さが五十度にもなるカンボディアに行ってきた。カンボディアでは、暑さと闘いながらの橋や道路の補修作業やポルト派を警戒し防弾チョッキを着て汗だくになりながら行った選挙支援、又食生活や風俗習慣。そして、言葉が通じないために戸惑い、ハラハラドキドキしながら、六ヶ月間は不安と期待であっという間に過ぎました。カンボディアでの体験は、自分の人生において最初で最後になるかもしれないが、カンボディアで経験したこと、これからの人生においてプラスにしていけるよう頑張っていきたいと思えます。

楽しかったことと言えば、振り返ってみると沢山あります。外国部隊の人達と楽しく酒を酌み交わし交友ができたこと、マーケットに行き「タライナー」と言いながら、現地の人達と楽しく話ができたこと、タケオの屋台で現地の人達と仲良くできたことなど、まだまだありますが、楽しかった思い出ばかりで本場に良い経験ができた。これもP KOに参加させてくれた家族、原隊の皆様方のおかげです。

これからは、カンボディアに早く平和が来ることを願うとともに、P KOで得た経験を生かし頑張りたいと思う。本場にありがとうございました。

昨年秋にUN T A Cへの派遣が正式に決定し、我が群からも精鋭九十六名の隊員が参加する事になりました。派遣に伴い、留守家族との連携を緊密に保つため「岩見沢駐屯地家族相談室」が開設され、私と吉田二曹が運営に当たることになりました。

三月下旬、四月上旬にそれぞれ派遣隊員を送り出し、いよいよ留守業務の真価を問われることになりました。残された家族の身になった業務を遂行しようとした。この間一番苦労したのは、家族への現地情報の伝達でした。上級部隊及び現地からの情報とマスコミの報道があまりにも誇張されており、大いに悩まされました。小包等の送付については、確実に現地地に到着するよう工夫し何とか三百六十個処置しました。こんな時、御家族と現地からお礼の手紙を頂き何よりも励みになりました。最後に、この偉大な成果は現地・家族・隊員が一心同体となり成し得たものと思えます。(曹友会会長)

留守業務を終えて



本部管理中隊 長堀 信光 曹長



本部管理中隊 宮崎 弘之 一曹

四月初旬にわが整備小隊から営内者二名を含む六名の隊員がカンボディアへ派遣となり、小隊ではO曹長、K一曹、付録の私が留守担当者として家族とのパイプラインという大任が回って来た。

当初、カンボディアの情勢が不安定な時期は家族の方も心配されて、色々な質問が多くその対応に四苦八苦し、この先どうなることやら。

総選挙も終わる頃にビデオレターの撮影が始まり、各家庭の雰囲気も千差万別であり私達も楽しんで終了。ついてはO曹長以下三名で団結会を実施し、翌日は当然二日酔いで。次に山菜取り、家族説明会等が実施され、思った以上に参加者が多く群全体も盛り上がり、長々話をしてもらうために色々な冗談を言ったりして、話をしやすい様な雰囲気を作るのに本場に苦勞しました。

私の留守担当者としての主な仕事は、ビデオ撮影でした。特に苦勞したのは、家族の現況を撮影する時です。カメラを向けずに話をすると、家族の人も色々話をしてくるのですが、いざカメラを向けると、なかなか話をしてくれません。P KO参加の隊員からは少しでも長いビデオを送ってほしいとの要望もあり、長く話をしてもらうために色々な冗談を言ったりして、話をしやすい様な雰囲気を作るのに本場に苦勞しました。



第312施設中隊 器材 浅野 茂 二曹

でも、留守担当者として良かったことは、今まで同様とは色々な付き合いをしているのですが、その家族と接することなどなくそれが出来たこと、家族が息子や夫が無事に帰ることを願っていることを感じたことです。機会があればもっと上手なビデオを作製したいと思えます。

最後に留守家族の方、担当者の皆様ご苦労さま!!



近江建設株式会社
特定土木建築許可 一級建築士事務所
代表取締役社長 近江 章
代表取締役副社長 近江 雅章
本社 岩見沢市4条東17丁目48番地
支店 札幌市中央区北1条西20丁目 豊本ビル4F
支店 三笠市唐松町1丁目374

安心とゆとりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 15 50 100 更新型
余裕資金を上手に活かして大型保障
協栄の保険料頭金制度をご利用ください。
定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社

安心しっかり 愛車もしっかり
車検費用積立プラン
富士火災
担当 松浦直樹
岩見沢支社 TEL 23-5142

# 人事往来

## ◎転出の部 【第十二施設群】

・群本部  
一佐 津村 隆夫岩見沢業  
本部管理中隊  
曹長 小野寺 弘南恵庭業  
一曹 岸井 三男 美唄業  
第三四二施設中隊  
三尉 溝江 武雄 8312器中  
三曹 倉園 武敏 8312器中  
十長 大城 勝二 混群

## ◎転入の部 【第十二施設群】

・群本部  
二佐 諏訪 舜一 3施団  
第三二二施設器材中隊  
三尉 溝江 武雄 342施中  
【業務隊】  
・隊本部  
一佐 津村 隆夫 12施群  
厚生科  
行(一) 上崎 正征 名寄業  
【会計隊】  
一尉 藤原 隆 札幌  
三曹 中山 浩明 弘前

### ☆北村田舎まつり 8.21~22 第312施設器材中隊



イカダ渡りレース  
製作は自衛隊が担当



みこし担ぎのお手伝い  
祭りを盛り上げる

## 地元とともに、イベント支援

### ☆岩見沢百餅まつり 9.14~16 本部管理中隊



もち米搬送も大事な仕事



この櫓は自衛隊の  
クレーンで作りました



会計隊  
二曹 巻淵 武史



二女 由美枝  
6月30日

本部管理中隊  
一士 杉本 年美



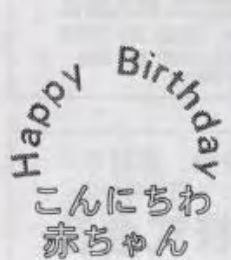
長男 佑輔  
5月27日

第三三六施設中隊  
三曹 高橋 克彦



長男 皓太  
9月6日

第三三六施設中隊  
三曹 五十嵐 英樹



長男 瑞仁  
8月26日

第三二二施設器材中隊  
三曹 吉田 暉孝



二女 夕佳  
9月14日

第三二二施設器材中隊  
二尉 三浦 勝行



長男 奨也  
9月11日

第三二二施設器材中隊  
三曹 長田 聡



長男 悠哉  
9月8日

第三三六施設中隊  
三曹 青木 広幸

## 株式会社 本堂建設工業

取締役社長 本堂 春夫

本社 三笠市規春別町4丁目  
電話 (01267) 406-8288 FAX (01267) 6-8030  
札幌支店 札幌市白石区本通1丁目南1  
電話 (011) 861-1381 FAX (011) 865-5034  
石狩支店 石狩町花川南1条1丁目1  
電話 (0133) 73-3111 FAX (0133) 73-0757

## 頑張ってます



第336施設中隊  
車両班 陸士長 泉 誠

## 千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉 嘉男

岩見沢市東山町2番地71  
電話 (0126) 24-4567番

## 自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局: 岩見沢商工会議所内  
支部長: 勝井 祐輔  
TEL: 0126-22-3445

## Mobil モービル石油株式会社

## 大西商事株式会社

本社 岩見沢市5条西17丁目1番地の1  
TEL 22-3430 FAX 25-7240

500人収容の大宴会場から中小宴会場  
でお待ち申し上げております

## ホテルザンブラガ

岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

- 年金と医療保険のバイオニア
- 生涯の保障に終身保険(明朗)

頭金制度により毎月安い  
保険料で大きな安心

## 東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)

- 東 船 油 所 岩見沢市8条東12丁目14番地の23 電話(0126) 24-6383番
- LANSON岩見沢8条店 岩見沢市8条東12丁目14番地の16 電話(0126) 22-9866番
- 大 和 給 油 所 岩見沢市大和2条3丁目50番地 電話(0126) 22-2241番
- インター給油所 岩見沢市駒園8丁目3番地の1 電話(0126) 22-2255番
- LANSON岩見沢9条店 岩見沢市駒園6丁目3番地の1 電話(0126) 24-3200番
- 一 条 給 油 所 岩見沢市1条西9丁目5番地 電話(0126) 25-1611番
- 機 車 部 岩見沢市5条西17丁目1番地の1 電話(0126) 22-2242番